

平成24年度 芦屋市保健センター運営審議会会議録

日時	平成25年3月26日(木) 13:30~15:00
会場	芦屋市医師会医療センター 2階会議室
出席者	委員長 立花 久大 委員 河盛 重造 委員 多田 羅 猛 委員 広瀬 隆也 委員 仁科 睦美 委員 安元 兆 委員 北井 明 委員 鈴木 紀元 委員 津村 直行 事務局 北口 泰弘 瀬戸山 敏子 田中 佐代子
事務局	健康課
会議の公表	公開
傍聴者数	0人

1 会議次第

(1) 開会

(2) 議題

- ・平成24年度保健センター事業の実施結果について
- ・平成25年度保健センター事業について
- ・その他 平成25年度芦屋健康福祉事務所地域保健課定例業務日程について

(3) 連絡事項

(4) 閉会

2 提出資料

資料1 平成24年度主要事業の実施結果について

資料2 平成25年度保健センター事業について

資料3 平成25年度芦屋健康福祉事務所地域保健課定例業務日程について

3 審議経過

【開会】

(事務局北口) それでは定刻になりましたので、芦屋市保健センター運営審議会を開催いたします。本審議会におきましては、芦屋市情報公開条例の規定に基づきまして会議は公開となっております。また委員の皆様のお名前・肩書き・会議録・会議録中の発言も公開となっておりますのでよろしくお願いいたします。それでは、開会にあたりまして立花委員長よりご挨拶をお願いいたします。

(立花委員長) 委員長をさせていただいております兵庫医科大学の立花です。本日はお寒いです、ご参集いただきましてありがとうございます。今回24年度第1回の会議ですが、われわれの任期も平成25年3月31日までとなっております、本日は皆様のご意見・ご審議をお願いいたします。

(事務局北口) ありがとうございます。それではお配りしていますレジメに沿って進めてまいりたいと思います。立花委員長、議事進行をお願いいたします。

(立花委員長) それでは、平成24年度保健センター事業の実施結果について事務局より

お願いします。資料1をご覧ください。
(事務局瀬戸山) まず、資料の確認をお願いいたします。それでは、資料1についてご説明いたします。

(資料1の説明)

(立花委員長) どなたか、今の説明に質問、意見はございますか。

(河盛委員) 以前にも聞いたかもしれませんが、5頁の3歳児健診の受診対象者数が22年度のみ多いのは何か理由があるのでしょうか。

(事務局瀬戸山) 平成22年度に対象年齢を3歳4か月から3歳1か月に変更した事によるものです。

(河盛委員) 1頁1番の訪問指導の回数が多いけれども、実数はどの程度のものなのでしょうか。出産数に対してどの程度なのでしょうか。

(事務局瀬戸山) 家庭訪問総数は、未熟児・新生児・乳児・幼児すべてであり、出産数に対してどの程度といえるものではありません。

(河盛委員) 同じ対象に何度も行くのですか。

(事務局瀬戸山) そうではありません。幼児を対象にした訪問は、主に健診のフォローで行くので、同じ対象のこともあれば違うこともあります。フォローの場合、子どもの相談へつなぐこともあり、繰り返し同じ対象の訪問に行くことは少なくなっています。

(北井委員) 先ほどの説明で、3頁の4か月健診の要医療の数が多いと言われていたが、その要因は何かわかりますか。

(事務局瀬戸山) 要医療と既医療の数字の間違いかと思われまので、確認します。確認次第、ご報告させていただきます。

(立花委員長) 他にはどなたか、ございませんか。

(多田羅委員) 特定健診・特定保健指導の受診率・実施率には開きがありますが、行政としての期待値はどのくらいのものなのでしょうか。それに加えて対象となるターゲットは年数とともに高齢化するけれど、そのような検討はされるのでしょうか。

(事務局瀬戸山) 現在、特定健診・保健指導の第2次実施計画を国民健康保険担当で策定しています。5年後平成29年度の目標は、特定保健指導は65%、特定保健指導は45%だったと思います。PDCAサイクルに基づき毎年改善はしていく予定です。

(広瀬委員) 芦屋病院での人間ドック受診者数も最終的には特定健診受診者数に含まれるのですか。平成23年度は入った数なのですね。平成24年度はどうですか。

(事務局瀬戸山) 平成24年度につきましては37%程度になるものと思われます。

(広瀬委員) 芦屋病院での人間ドック受診について、国民健康保険の方に助成のようなものはあるのでしょうか。金額は。

(事務局瀬戸山) はい、国民健康保険のほうであります。金額は半額助成だったと思います。

(事務局北口) ただし、予算の範囲以内でということになりますので、申し込まれてもご希望に添えないこともあります。

(立花委員長) 特定保健指導の実施率が低いですが、どのようにお考えですか。

(事務局田中) 対象者数が、平成23年度に計上されるべき数が、平成24年度に計上されたために、実施率が下がったようですが、対象者数がきちんと計上されていれば、平成24年度については23年度と同等と考えています。

(北井委員) 全国的にも無理があること承知で頑張っているんでしょうが、評判は良くないですね。

- (事務局瀬戸山) ただ言えることは、特定保健指導にこられた方はとても改善が見られています。こられる方は、改善しようと思って参加されているので結果が出ています。参加する動機をどのように作るかを考えています。訪問もひとつ、しかし訪問されることが嫌な方もいらっしゃるのでは、メールなどその他の通信方法の検討もしていきたいと考えています。
- (北井委員) 異常があったとき、保健指導を受けますかと聞いて『受けます』といわれる方は異常がないんです。受けますという人をもっと活用してはどうか。受けたいという人を増やす努力をしてはどうか。
- (事務局瀬戸山) 今後マルチマーカーというデータ分析ソフトを使って、痛くない血管の傷みをどのように伝えていけるか、データ化して視覚的に理解いただいたり、私たちの話し方を変えたり、いろいろと工夫してまいりたいと思っています。しかし参加にいたるまでの工夫については皆様からもお知恵を拝借したいところです。
- (多田羅委員) 健康な人ほど健診を利用し、本当に必要な方は健診を受けてないのが実情ではないでしょうか。この詳細なデータはあまり市民の目に触れる事がないですよ。脅してはないが、「来なかったら大変ですよ。」のようなメッセージを伝えるのはいかがでしょう。
- (北井委員) 健診受診率等により、ペナルティがあるないという話がありましたが、芦屋はどうなのですか。
- (事務局北口) 実際にはまだ国として実施していません。芦屋市の場合は、特定健診受診率阪神間の中では良いほうです。
- (立花委員長) それでは次、平成25年度保健センター事業について

(資料2の説明)

- (立花委員長) ありがとうございます。今の説明に質問、意見はございますか。
- (広瀬委員) 歯科についてですが、歯の無料相談と健診は、24年度実績を見ていただくと、実績数がとても増えている事がわかると思います。母と子が多かったが、40歳以上の歯周疾患健診も合わせて行う受診者も増えてきており、受診者の待ち時間が長くなる事もある。現在、予約も必要なく、定員も設けていないが、受診者が増え続けた場合、実施方法等の検討は可能でしょうか。
- (事務局北口) 受診者の待ち時間が長く、苦情が出たりすると検討せざるを得ないと思います。
- (事務局瀬戸山) 24年度受診者数が増えたのは、特定健診の受診券に案内チラシを同封した事によるものだと思います。
- (北井委員) 父と子の歯科の事業があったように思うが、消えてしまっているのが残念です。早期から歯科衛生について学ぶことは有用と考えます。
- (事務局北口) 市の事業として歯科に関するものは、保健センターで行っていますのでわかるかと思いますが、そういった事業はなかったように思います。
- (立花委員長) 他には何かありませんか。
- (河盛委員) 子宮頸がんワクチンは、保健センターだよりは小学6年生とありますが、希望されたら接種していいということなんですよ。
- (事務局瀬戸山) 案内は中学1年にしようと思っています。希望された場合は6年生でもかまいません。
- (鈴木委員) 未熟児の取り扱いについてですが、所得は無関係ですか。
- (事務局北口) 本来、所得に応じて一部負担があります。芦屋市で実施するにあたり、一

部負担はとらない方向でします。しかし国の補助金対象となっていますので、事務上必要になりますので所得の確認はします。

(立花委員長) 他にはありませんでしょうか。よろしいでしょうか。最後その他で平成25年度芦屋健康福祉事務所地域保健課定例事業日程表について

(資料3の説明)

(立花委員長) ご意見等ありませんでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは連絡事項、事務局何かありますか。

(事務局北口) 保健センターだよりをご覧ください。平成25年4月1日より組織改正に伴い、保健福祉部健康課から、こども・健康部健康課に変更となります。よろしくお願いいたします。

(立花委員長) それでは、どなたか他にご発言ございませんでしょうか。ないようですから、はいよろしくお願ひします。

(津村委員) 委員の立場を離れまして、3月末の任期の終了を控え、お礼申し上げますとともに今後ともお願ひしたいと存じます。委員長の立花先生には、食育推進計画の策定でも非常にお世話になり、ありがとうございます。平成25年4月1日より組織改正します。その背景には、団塊の世代の退職、市民からわかりやすい市役所を目指すことがあります。社会基盤整備は進みましたが、こどもについては不十分なところがあります。こども子育て支援法ができた事により、これから取り組んでいくのですが、そのなかには妊婦健診も含まれておりまして、子ども施策と健康とに取り組んでいく部となります。部長は私が勤めさせていただきます。今後ともよろしくお願ひいたします。市内部の体制は刷新しまして頑張っまいます。重ねて今後ともご指導いただきますようお願い申し上げます。

(立花委員長) よろしいでしょうか。貴重なご意見等ありがとうございました。それではこれもちまして、閉会といたします。皆様ありがとうございました。

【閉会】